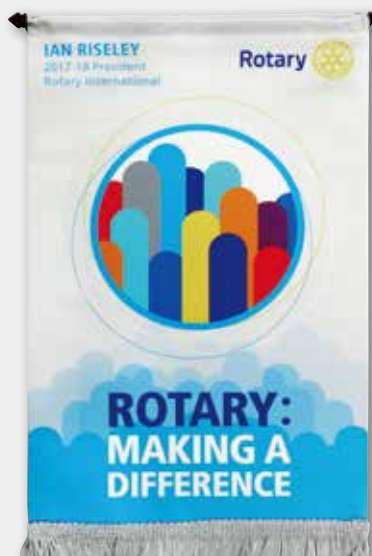




ロータリー：変化をもたらす

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550



国際ロータリー第 2550 地区

ガバナー月信

4月号 April



『感動の一本桜』

Contents

■ ガバナーメッセージ	2
■ 母子の健康月間に因んで・社会奉仕セミナー開催のお願い	3
■ IM報告 (第3グループA・B)	4
■ IM報告 (第6グループ)	5
■ IM報告 (第5グループ)	6
■ クラブだより	7

■ クラブ訪問 (岩舟ロータリークラブ)	8
■ ロータリーコーディネーターニュース	10
■ 文庫通信・地区内主要行事	11
■ 物故会員	11
■ 会員数現況報告・表紙説明	12

ガバナーメッセージ



「公共イメージと認知度の向上」 について

国際ロータリー第2550地区
2017-18年度 ガバナー

太 城 敏 之〔宇都宮東RC〕

ロータリアンの認識と大いにかけ離れた、 世間一般のロータリークラブに対するイメージ

4月のロータリー特別月間は「母子の健康月間」ですが、この内容に関しては他稿に譲り、今月のガバナーメッセージは「公共イメージと認知度の向上」について掘り下げたいと思います。

皆さんご存じのように、国際ロータリーの戦略計画には3つの優先項目があり、「(1) クラブのサポートと強化」「(2) 人道的奉仕の重点化と増加」、そして「(3) 公共イメージと認知度の向上」が掲げられています。公共イメージはそれほど重要なテーマであり、今まさに第2550地区においても取り組みが欠かせません。

ちなみに、国際ロータリー(RI)が2010年に実施した「ロータリーの公共イメージ調査」によると以下の回答が大半を占めました。

**【ロータリークラブの名は聞いたことはあるが何を
する団体なのか知らない】**

また、これとは別に一般男女(30歳～45歳)に関する調査ではこんなイメージを思い浮かべるそうです。

**【年配、男性、柔軟性がない、エリート主義、排他的、
秘密的】**

ガバナーとしては大変残念でなりません。私たちロータリアンの自己認識とは大いにかけ離れています。

自ら情報を発信し、広く一般に伝え、 認知度を高めるために必要なこと

では、第2550地区を構成する各クラブは、「公共イメージと認知度の向上」にどう取り組めばよいのでしょ

うか。結論としては、クラブごとに特徴や強みを見出し、「自分たちならではの」または「自分たちにしかできない」ような社会奉仕活動に注力すべきです。

例えば、地元で開催される季節の祭りやスポーツ大会など、地域に根ざし、住民の暮らしに身近な恒例イベントへの協力・協賛は、地域における「公共イメージと認知度の向上」につながるはずです。その際、無理にお金をかけたり、背伸びをして大々的に行うのではなく、身の丈の小さな活動で構いません。継続と積み重ねこそが後に大きな力となってくれるでしょう。

その際、大切なのは広くPRするための各種ツールです。イベントにおいてはテントやのぼり旗に「〇〇〇ロータリークラブ」としっかり明記し、さらに揃いのジャンパーや法被(はっぴ)、タスキなどにも名入れを施したいものです。また、祭りなどに案内板を寄付する際も、端のところにクラブ名と歯車のロゴマークを忘れずに入れてください。

最近、マスメディア向けの記者会見などで、人物の背景にスポンサー企業のロゴが入った「インタビューボード」と呼ばれるパネルを目にするようになりましたが、これも「他から見られること」を意識したPRツールの一つであることを知っておいてほしいと思います。

以上のように自ら情報を発信し、広く一般に伝え、認知度を高める活動は、会員間の結束をより強くするほか、ひいては会員増強にもつながることは言うまでもありません。つまり、「公共イメージと認知度の向上」と「会員増強」は表裏一体なのです。そのためには「他から見られること」を意識したプレゼンテーション上手になることが一番の近道だと考えています。



母子の健康月間に因んで・社会奉仕セミナー開催のお願い



子どもの虐待について

社会奉仕部門
カウンセラー

梶 木 秀 磨 (足利わたらせ)

今年度、社会奉仕委員会（瀬野公男委員長）は、各クラブで子供の貧困と虐待についての奉仕活動を行っているかという調査を行いました。結果、51クラブ中11クラブで何らかのテーマで係わっている事が判りました。今月は、母子の健康月間です。そこで、子供の虐待の現況について述べてみます。一人でも早期に悲惨な虐待から救出される事を願っております。

児童虐待防止法が平成12年11月に施行され、今年で18年が経過しました。児童相談所（児相）の報告では、約7倍に増加しており、その背景には核家族化や地域のつながりの希薄化、そして児童虐待の認識が広まったこと等、が言われております。

この現況から、厚労省は29年9月に新しい社会的養育ビジョンを発表しました。それによりますと、平成28年児童福祉法改正により、子どもが権利の主体であること、実親による養育が困難であれば、里親や特別養子縁組などで養育されるよう、家庭養育優先の理念が規定されました。即ち、子供を育てる意志がなければ児相と連携して、養子縁組を勧めております。

子ども虐待の現況は

①平成28年度 児相（0歳～18歳未満）における相談件数は122,578件（前年度比+19,292件 栃木県：1,116件）虐待の種類は心理的虐待63,187件（56.5%）身体的虐待31,927件（26.0%）ネグレクト25,842件（21.1%）性的虐待1,622（1.3%）

②平成28年度 虐待死は84人で、心中以外は、52人0歳児まで30人（57.7%）このうち1ヶ月以内13人（25%）特に当日11人（21%）加害者は実母が26人（50.0%）と最も高く、実父12人（23.1%）加害者の動機は、予期しない妊娠18人（34%）妊婦健診未受診17人（32.7%）10代妊娠13人（25.0%）

愛着の対象であるはずの親が恐怖の対象となって、悲惨な虐待を起こしています。この背景には、貧困や特定妊婦（出産前からの支援が必要な妊婦）の存在があります。厚労省は、予期せぬ妊娠で悩んでいる女性のために産科医療機関に児童福祉司を配置して出産後の生活のサポートと、褥婦のうつ病発見のための調査を行っております。

さて、虐待は第二の発達障害であると言われております。ハーバード大学と共同研究をしている福井大学小児科教授 友田明美先生は、MRIを用いて脳形態や脳活動を可視化して検討しています。それによりますと、体罰で前頭前野が減少、言葉の暴力では聴覚野の増加、性的・DVでは視覚野の減少が見られる。小児期に激しい虐待を受けると、脳の一部がうまく発達できなくなり、成人になって精神的なトラブルで悲惨な人生を背負う事になる。そのため、可能な限り早期に虐待状況から救出し、脳の可塑性に期待し、養育環境を整える事が重要であります。大切な未来への芽を間違った方法で育めば、暴力や虐待は時代も超えて受け継がれていき、虐待は連鎖します。と述べております。

スウェーデンでは1979年、世界で最初に体罰禁止法を制定し、現在では世界で50カ国が提唱しております。日本でも悲惨な虐待をなくすために早期に制定される事を望みます。

出典

- 1.平成28年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数(厚労省)
- 2.子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第13次報告)
- 3.新版いやされない傷(診断と治療社)友田 明美著

『子どもの貧困・児童虐待』ゼロを目指して

地区社会奉仕委員長 瀬野 公男〔小山南〕

見せましょう、ロータリーの団結の強さを。見せましょう、ロータリアンの底力を。

第2550地区全ロータリアンにお願いします。表題に掲げた目標に向かって、太城ガバナリーのテーマ「チャレンジ&イノベーション」を大いに発揮して、奉仕活動をして下さい。それには、まず現状を掌握するために、専門の人達の話聞く「卓話」を是非クラブで設けて下さい。クラブ任せでは無く、ロータリアン一人一人が自分の周りを見回せば必ず見つかります。それでもいい場合には、私に直接連絡下さい。(瀬野携帯：090-4661-9798)

4月の「母子の健康月間」に是非「卓話」を取り入れて下さい。

IM (Intercity Meeting) 報告 第3グループ (A・B)

第3グループ(A・B)IM

インターシティーミーティング



グループAガバナー補佐 佐伯 秀利〔宇都宮北〕

グループBガバナー補佐 若月 章男〔宇都宮南〕



『見つめよう 変革の時から明日を』

2月24日、RI2550地区第3グループA・BのIMが宇都宮グランドホテルにおいて開催されました。今年度は、国際ロータリーのテーマ「ロータリー：変化をもたらす」および地区のテーマ「チャレンジ&イノベーション」を踏まえ、第3グループの会長さんから、自クラブでの変革とこれからのクラブの進むべき指針を発表して頂きました。当地区には、最も古い67年の歴史を持つクラブから最も新しい4年のクラブが存在するため、指針発表ではクラブ、社会、職業、国際、青少年奉仕、ロータリー財団、米山記念奨学会のすべて分野におよび、情報交換に大いに役立ち、さらにロータリーの魅力を皆様に感じて頂けたものと思います。これにより太城ガバナーの発信する「2020・2000」作戦の完



遂を、目指していきなす。また、飯村慎一バスターの総評にも会員増強の重要性が盛りこまれ2550

地区の発展を促されておりました。次いで、次期ガバナー補佐Aの川名悟様(宇都宮90)とBの橋本正行様(宇都宮陽東)が紹介されました。



講演会は、NPO法人勇気の翼インクルージョン理事長であり、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本の名誉会長である細川佳代子様をお呼びし、「スペシャルオリンピックスの魅力」というテーマでお話をさせて頂きました。幼少からのボランティア活動、スペシャルオリンピックスとの関わり、特に関係省庁との折衝について、怒りも含め笑いを誘いながらのお話でした。知的障害者との関わりが心を豊かにする社会には必要であることを説明され、会員の皆さんに支援の協力を要請されました。

懇親会は、まずスペシャルオリンピックスのアスリートの紹介があり、その後、





IM (Intercity Meeting) 報告 第6グループ

太城ガバナーの乾杯で宴が始まりました。会場でジャズボーカリスト4名によるミニコンサートもあり大変盛り上がりましたが、伊東永峯ガバナーエレクトによる中締めで宴を閉じました。最後に、IM開催に御尽力頂きました宇都宮北RCの皆様に深甚なる謝意を表します。

グループAクラブ

宇都宮・宇都宮西・宇都宮北・
宇都宮90 (宇都宮90結：衛星)・
宇都宮陽北

5RC在籍会員数 (327人)

グループBクラブ

宇都宮東・宇都宮南・宇都宮陽東・
宇都宮陽南・宇都宮さつき

5RC在籍会員数 (277人)



第6グループIM

インターシティミーティング



栃木



栃木西



壬生



栃木南

ガバナー補佐 長谷川 孝〔栃木南〕

第6グループのIMは、2月25日(日)、会員88名とインターアクトクラブ、青少年交換学生等38名の参加のもと、栃木南RCをホストとして開催しました。IMのテーマは「ロータリーファミリー」です。始めにここ数年間に入会した新入会員の皆さんにステージに登壇していただきグループ全体で歓迎をしました。次に私達が実施している青少年関係の活動をインターアクトクラブ(栃木工業高校・國學院栃木高校)、青少年交換学生、米山奨学生、RYLA、R財団学友会の皆さんに発表していただきました。3番目は4クラブの主な活動を発表して情報交換を図りました。4番目は1つのクラブでできないことを4クラブで協力して取り組んでいますグローバルグラントプロジェクトについてと合同野球チームについて発表していただきました。3時間の研修を終えた後の懇親会ではR財団学友会の荒井庸子さん



のピアノと前田みねりさんのバイオリンのコンサートを楽しましました。今回のIMの開催にあたり発表の準備をしていただいた4クラブの皆さんやインターアクトクラブをはじめとする青少年の皆さんに感謝を申し上げます。

グループクラブ

栃木・栃木西・壬生・栃木南

4RC在籍会員数 (133人)



IM (Intercity Meeting) 報告 第5グループ

第5グループIM

インターシティミーティング



小山



小山南



小山東



小山北



小山中央

ガバナー補佐 滝沢 重雄〔小山南〕

平成30年2月17日(土) まだまだ寒さの厳しいなか、80名の参加をいただき小山グランドホテルにおいて、第5グループのインターシティ・ミーティング(I・M)が開催されました。14時30分から登録、15時より合同例会をスタート、瀬野公男実行委員長の開会の言葉、知久静江ホストクラブ会長の歓迎の言葉、滝沢重雄ガバナー補佐からの主催者挨拶、小山市長大久保寿夫様より来賓挨拶をいただきました。又恒例になっている小山市社会福祉協議会の「どんぐり基金」に小山市長に寄附目録を贈呈して合同例会のセレモニーは終了しました。

その後16時より記念講演会に移り特定非営利活動法人「栃木DARC」代表理事栗坪千明様をお迎えして貴重な講演をして頂きました。栃木DARCは薬物などを乱用して依存症などで悩んでいる人々の回復支援施設として2008年8月に開設されました。講演では「薬物依存症とその回復」についての演題で薬物乱用になった動機、薬物依存症になってしまった生活状況など約1時間20分の講演をしていただきました。講演終了後、17時30分より懇親会に入りました。

インターシティ・ミーティング(I・M)は、第5グループの会員が一年に一度顔を合わせる場で会員同士の



情報交換または親睦を測ることが一番の目的であり、それには懇親会でお酒を飲みながら楽しくやるのが最高だと思います。また、アトラクションとして、おやじバンド・シーアンドシャークによるバンド演奏を聞きながら昭和の時代を懐かしみ、短い時間でしたが大変盛り上がり無事I・Mを終了することができました。

第5グループの会員の皆さんご協力ありがとうございました。

グループクラブ

小山・小山南・小山東・小山北・小山中央

5RC在籍会員数(117人)





クラブだより

地区内17番目の『宇商マーキュリーIAC』設立

会長 田嶋 章夫〔宇都宮東〕
 青少年奉仕委員長 小林 正明〔宇都宮東〕



2月18日（日）、冴え渡る青空のもと、地区内17番目のインターアクトクラブである、『宇商マーキュリー インターアクトクラブ』の認証状伝達式が、宇都宮市大曾の栃木県立宇都宮商業高等学校内にて執り行われ、生徒会長も務めるインターアクトクラブ会長の今井大貴さんへ太城敏之地区ガバナーから結成認定状が手渡されました。当日は、御来賓としてご臨席賜りました、中村千浩栃木県教育委員会学校教育課長はじめ、地区内より栃木秀麿・羽石光臣・飯村愼一・鈴木宏パストガバナー、そして地区委員、インターアクター、ローターアクター、ロータリアン約80名のご参加を戴きました。

今井大貴会長からは、商業の神である「マーキュリー」を冠したクラブ名に相応しい、社会との関わりを重視した奉仕活動への熱意が語られました。

式典終了後の懇親会では、参加インターアクトクラブとのバナー交換、宇都宮商業高等学校の全国一となった空手の演武、全国でもトップクラスの珠算部に



よるフラッシュ演算や、県内有数の成績を誇るバトン部の演舞がアトラクションとして行われ、和気藹々と懇親をはかりました。

宇都宮東ロータリークラブは、ローターアクトクラブを提唱していますが、この度の、本インターアクトクラブの提唱により、青少年奉仕活動への人的資源の増強を更に推進させ、インターアクト・ローターアクト・ロータリーが一丸となって、超我の奉仕に邁進していきたいと思います。



クラブ訪問(岩舟ロータリークラブ)

脱会の危機を乗り越え、不死鳥のごとく再生。 設立40周年を節目にさらなる高みを目指す

岩舟ロータリークラブ

- ・創立年月日/1978年(昭和53年)10月17日・RI加盟承認年月日/1979年(昭和54年)2月12日
- ・スポンサークラブ/佐野東ロータリークラブ・正会員/12人(平均年齢56.8歳)
- ・例会場/栃木市岩舟町商工会館・例会日時/火曜日 18:30~

クラブ
訪問
【第1回】



会員数が激減し、一時はRI脱会を覚悟

1978年(昭和53年)10月、佐野東ロータリークラブをスポンサークラブに30名の会員で設立した岩舟ロータリークラブは、来年度に創立40周年の節目を迎えます。

長きにわたりクラブ運営する中で最も懸念されたのは、一時は会員が4人まで減ったことでした。当時、例会に出席する会員の顔ぶれも固定化し、出席者数も少なくなり、メインイベントである卓話の開催も困難な状況になったそうです。

また、時期を同じくしていわゆる「平成の大合併」で町とクラブは大きく揺れました。近隣の他クラブへ



籍を移す者、これを機にロータリークラブから退会する者など会員の流出に歯止めが掛かりません。ついに岩舟ロータリークラブは解散を決意し、脱会届を国際ロータリー日本事務局に送りました。

ご存じのように、クラブを解散するのは手続き一つで済みますが、新たにクラブを立ち上げようとなると大変な努力と時間を要します。しかも、これまで積み上げてきた活動の歴史、地域との関わり合い、人的ネットワークなど、一切合切が断ち切られてしまいます。

脱会届の提出後、そうした思いが日増しに募り、クラブは急遽方向転換することに。ギリギリの段階になって日本事務局に電話を入れ、脱会届を返上。クラブを生かす方向に舵を切りました。聞けば、脱会が承認される1時間前のことだったといいます。

フレッシュな顔ぶれの会員たちが一致団結

再スタート時、会員はチャーターメンバー2名を含む数名でした。中には再入会の会員もいたそうです。



クラブ訪問（岩舟ロータリークラブ）

2015-16年度の会長を務めた安藤芳雄さんは当時、会員増強策として息子さんを入会させました。その息子さんは友人の経営者仲間を誘うなど、少しずつ会員が増え、現在は全会員の努力の甲斐あって正会員が12名になりました。その内訳は入会1年未満が4名、入会1年～4年未満が4名いるなど顔ぶれはフレッシュです。

2017-18年度の会長を務める市村 隆さんもフレッシュな顔ぶれの一人で、今年で入会2年目になります。元岩舟町長だった市村さんは安藤前会長から懇願され、「自分がやらないと後続く人がいなくなる」との切実な思いから、ロータリアンとしての経験が浅いにも関わらず会長職を引き受けたそうです。

ロータリアンとしての誇りを胸に地域に貢献

岩舟ロータリークラブの社会奉仕は「地元らしさ」を念頭に、地域に密着した活動を続けています。

岩舟石の採石場跡地で開催される野外ライブ・岩船山クリフステージや岩舟町駅伝大会、健康福祉まつりなどへの協賛、町の小学校への善行篤行表彰、町の

特別支援学級発表会での記念品の贈呈などさまざまです。

昨年10月には創立40周年を記念して「いわふね寄席」（会場／コスモスホール）を主催。およそ200人の来場者があり活況を呈しました。そのときはたった9人の会員で、イベントの手配や会場の設営などすべての準備を手分けして行ったそうです。

さて、次年度に記念すべき40周年の節目を迎えるにあたり、市村会長は今年度の会長テーマとして「新たな親睦とさらなる高みを目指して」を掲げました。今年度を岩舟ロータリークラブの新たな旅立ちの年と捉え、記念すべき40周年という節目につなげようとするものです。

「再びこのクラブに多くの仲間が集い、ロータリアンとしての誇りを胸に地域に貢献し、社会に奉仕するために一丸となって邁進することを、みなさんとともに宣言したいと思います」（市村さん）

市村会長は会員とともに決意を新たにしました

【取材：ガバナー月信委員会】



Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2018年4月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第1ゾーン担当

■公共イメージの観点からの奉仕活動

2017年4月号コーディネーターニュースへ、私は「ロータリーを正しく伝える為に、まずはロータリーの目的を分かり易く伝えるべき」と記載しました。「ロータリーの目的」を分かり易く表すと



1. 知り合いを広め奉仕の機会とする

⇒新しい仲間を増やして共に奉仕活動しよう。

2. 職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものにする。

⇒自分の職業をもっと磨きましょう。自分の職業を磨くには、まずは自分を磨く必要が有ります。つまり自分と自分の職業を磨きましょう。

⇒昨今は、職業奉仕について触れる機会が少なくなりました。

「職業奉仕云々より、会員増強と寄付を多くしよう」と声高に仰る方も居ますが、私は「会員は自分の基盤である職業をしっかりと磨く事がまず大切で、その上に社会奉仕や国際奉仕が有る」事が望ましいと考えています。

3. 社会生活に於いて奉仕の理念を実行する

⇒地域社会に於いて、自分個人やクラブが地域に必要な事で周囲(自治体や他の団体)が手を差し伸べていない事業を探し、実行する事と考えます。

○永年に亘って実績を重ねてきた社会奉仕も、たまには見直ししたら如何でしょうか？

⇒始めた時には地域で必要な事で周囲が手を差し伸べていなかった。しかし今では社会情勢が変わり、あまり必要では無くなった、或は周囲も熱心に行っているような場合には、ロータリーは一步下がって、別の案件を探してみる事も必要と考えます。

⇒逆に、もっと大々的に続ける必要があるのに、ロータリーだけでは成し遂げる事が出来ない大きな事業になる場合には、他の団体と共同で奉仕する事も考えてみましょう。

共同して仕事すると、相手団体の方々にロータリーの事をよく理解して頂けるでしょう。

4. ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する

⇒これは言葉の通りですが、今はポリオ撲滅に全力投球。この事をもっとアピールしましょう。

ロータリー公共イメージコーディネーター 第1ゾーン 鈴木秀憲

■ロータリーの創立記念日に因んで

2月はロータリークラブにとって創立記念の月でありました。今年で113周年を迎えることとなりました。

さて、創立記念日とは、創立者の思いを再認識するとともに、今日までの変遷に思いを馳せ、また今後のことを考える機会でもあります。私の地区で、2月23日に必ずIMを行う分区があります。実にロータリーらしい企画だと思っております。クラブを支えている会員が、創設者の思いを一年に一度、お互いに認識する場を必ず設けているということで、とりわけ、新入会員にとっては絶好の機会であり、ロータリーのDNAを継承していく営みであるとも言えます。

そして、これから地区大会が開催される地区、ロータリーの1年の締めくくりの国際ロータリー年次大会トロント大会の開催も間近です。地区大会は、ガバナーがRI会長のメッセージを伝える重要な場であり、地区の会員が一堂に集まり、各クラブが取り組んでいることを発表し、評価し合う場でもあります。そして研修の場でもありますので積極的に参加してください。国際ロータリー年次大会にも積極的に参加ください。得るものは大きいです。



今日はロータリーの組織以外でも会員との交流や研修、奉仕に取り組んでいる組織が沢山あります。そうした中でロータリーに更なる興味を持って頂くためには、会員はもとより会員予定者にも声を大にして伝えていく義務があると思います。そのためには、価値ある例会、地区大会、IM、RLI等の研修に積極的に参加することが必須となります。最初からロータリーを知り尽くしている方などおりません。だからこそ是非「My ROTARY」を活用し、誰もがロータリーの知識者になっていただきたいと切に願っております。また、ゾーンごとにロータリーコーディネーターがおりますので、是非ともご活用ください。

ロータリーコーディネーター補佐 第1ゾーン 菅原裕典



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

[下記申込先: ロータリー文庫]

ロータリーの精神 文庫通信366号

ロータリーの夢と哲学～21世紀のロータリー～	久野 薫	2018	19P	D.2680 IM記念誌
人類の繁栄とロータリー運動	中村 尚義	2018	4P	D.2680 IM記念誌
変えてはならないロータリーの基本理念 溢れている情報を整理して理解しましょう	松田 泰長	2018	1P	D.2790月信
RLI参加者テキスト(2015～2018年度版)	RLI日本支部; 翻訳・監修	2016	197P	
地区リーダーチームの手引き ガバナー補佐・地区委員会委員長研修セミナーテキスト	服部 芳樹	2018	68P	D.2630
震災を記憶にとどめ後世に伝える 復興支援・5年のあゆみ	いわき平中央R.C.	2016	62P	
東日本大震災支援報告書	D.2530	2016	130P	
8・20広島市豪雨土砂災害復興支援報告書	D.2710	2015	76P	
災害支援プロジェクト報告書	D.2660	2012	142P	
体験「阪神・淡路大震災」	西宮夙川R.C.	1997	70P	

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL03-3433-6456・FAX03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

地区内主要行事

2017-18年度:2018-19年度 地区内主要行事

2018年

4月	8	日	2018-19地区研修・協議会	宇都宮短期大学	ホスト:宇都宮西RC
	14	土	宇都宮陽東ロータリークラブ25周年記念式典	宇都宮グランドホテル	宇都宮陽東RC
	15	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
5月	6	日	宇都宮市内10ロータリークラブ親睦ゴルフ大会	宇都宮カンツリークラブ	ホスト:宇都宮さつきRC
	20	日	第23回地区親善野球大会(10/22から順延になっていた振替)	河内総合運動公園内野球場	ホスト:宇都宮北RC
	27	日	第16回高校生RYLAセミナー	宇都宮文星女子高等学校	地区RYLA委員会
6月	7～11	木～月	青少年交換委員会2018年度海外視察研修	フランス イタリア	地区青少年交換委員会
	17	日	米山2018年度第1回地区委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
	17	日	18-19年度第1回受入ホストクラブ カウンセラー研修会	宇都宮グランドホテル	地区青少年交換委員会
7月	8	日	第1回諮問委員会	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
	8	日	第1回地区運営委員会	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
	22	日	18-19年度第2回受入ホストクラブ カウンセラー研修会	宇都宮グランドホテル	地区青少年交換委員会
8月	5	日	19-20年度一年交換学生 選考試験	宇都宮グランドホテル	地区青少年交換委員会
	17	金	18-19年度一年交換受入学生来日	成田空港着～ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
	18～20	土～月	18-19年度一年交換受入学生日本語勉強会	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
	19	日	18-19年度地区クラブ米山記念奨学会研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
	25～26	土～日	19-20年度派遣学生・18-19受入学生宿泊オリエンテーション	ニューサンピア栃木	地区青少年交換委員会
	26	日	ロータリーリーダーシップ研究会(RLI) パートI	作新学院大学	地区RLI委員会

物故会員

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます



物故 平成30年2月8日
享年 86歳

こん どう 稔

【小山南RC】

◆生年月日 昭和6年9月1日
◆入会年月日 昭和45年8月20日

◆ロータリー歴 47年
地区役員
1982-1983年度 国際親善活動委員
クラブ
1976-1977年度 幹事
1981-1982年度 会長

◆財団、米山奨学会などの寄付歴
ロータリー財団
PHF+3
米山記念奨学会
第8回米山功労者



物故 平成30年2月17日
享年 76歳

むろ い つぎ お

【黒磯RC】

◆生年月日 昭和18年6月16日
◆入会年月日 平成20年10月1日

◆ロータリー歴 9年
クラブ
2011-2012年度 親睦委員長
2014-2015年度 プログラム委員長
2016-2017年度 社会奉仕委員長
2017-2018年度 米山記念奨学会委員長

◆財団、米山奨学会などの寄付歴
ロータリー財団
ボールハリス・フェロー

会員数現況報告(2月分)

分 区	クラブ名	会 員 数								
		7月1日	2月末	入会	退会	通算増	通算減	増減	うち40歳未満	内女性会員
第1グループ	大田原	25	27	1	0	2	0	2	0	1
	黒磯	37	36	0	1	1	2	-1	2	2
	西那須野	42	45	0	0	3	0	3	0	3
	黒羽	9	10	0	0	1	0	1	1	0
	那須	9	9	0	0	1	1	0	0	2
	塩原	8	8	0	0	0	0	0	0	3
第2グループ	大田原中央	22	22	0	0	1	1	0	1	1
	鳥山	15	16	0	0	1	0	1	0	2
	氏家	23	25	0	0	3	1	2	0	2
	矢板	14	13	0	0	1	2	-1	0	2
	馬頭小川	22	23	0	0	1	0	1	0	0
	高根沢	15	16	1	0	1	0	1	0	0
第3Aグループ	宇都宮	104	106	1	0	7	5	2	2	1
	宇都宮西	78	82	0	0	4	0	4	3	0
	宇都宮北	48	49	0	1	2	1	1	1	0
	宇都宮90	45	47	3	0	4	2	2	1	5
	(宇都宮90結：衛星)	8	10	0	1	4	2	2	2	5
	宇都宮陽北	31	33	0	0	2	0	2	2	3
第3Bグループ	宇都宮東	116	123	0	0	10	3	7	2	0
	宇都宮南	52	53	0	0	3	2	1	1	3
	宇都宮陽東	48	52	1	0	4	0	4	3	8
	宇都宮陽南	20	24	0	0	4	0	4	2	7
	宇都宮さ	23	25	0	0	3	1	2	2	3
	真岡	52	60	1	0	8	0	8	2	0
第4グループ	益子	34	34	0	0	2	2	0	0	3
	真岡西	36	36	0	1	1	1	0	2	5
	しもつけ	30	32	0	0	3	1	2	2	6

分 区	クラブ名	会 員 数								
		7月1日	2月末	入会	退会	通算増	通算減	増減	うち40歳未満	内女性会員
第5グループ	小山	28	27	0	0	2	3	-1	0	1
	小山南	20	18	0	1	0	2	-2	0	3
	小山東	24	25	0	0	1	0	1	0	0
	小山北	20	20	0	0	1	1	0	2	0
	小山中央	28	27	0	0	0	1	-1	0	2
	栃木	45	47	0	0	3	1	2	0	2
第6グループ	栃木西	26	29	0	0	3	0	3	0	1
	壬生	21	21	0	0	1	1	0	0	3
	栃木南	34	36	0	0	2	0	2	0	9
	日光	22	23	0	0	1	0	1	0	6
	鹿沼	55	60	3	0	5	0	5	4	1
	今市	39	42	0	0	3	0	3	0	0
第7グループ	鹿沼東	34	35	0	0	2	1	1	1	3
	鹿沼あわの	7	6	0	0	2	3	-1	1	2
	鹿沼中央	21	20	0	0	0	1	-1	0	1
	今市きぬ	26	28	1	0	2	0	2	0	0
	足利	33	36	1	0	4	1	3	2	0
	足利東	51	49	0	1	1	3	-2	1	6
第8グループ	足利西	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	30	31	0	0	1	0	1	0	0
	佐野	60	60	0	0	2	2	0	0	0
	葛生	35	37	0	1	3	1	2	0	0
	田沼	43	43	0	0	0	0	0	2	0
	佐野東	21	22	0	0	1	0	1	0	3
第9グループ	岩舟	10	12	0	0	2	0	2	0	0
	51RC(衛星クラブ)	1710	1781	13	7	119	48	71	44	110



表紙写真説明

第6回「宇東写楽」写真展出品作品 『感動の一本桜』

撮影：太城 敏之（宇都宮東）

三春の滝桜は、福島県三春町大字滝字桜久保に所在します。樹齢推定1000年超のベニシダレザクラの巨木であり、国の天然記念物に指定され日本三大桜のひとつに数えられています。開花時期の早朝の暗いうちに出かけて、撮影を済まして会社の出社時間には帰ってくる撮影行です。数年続けた内の一枚です。



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142

宇都宮グランドホテル内

TEL.028-651-2550 FAX.028-651-2551

Email m2550@agate.plala.or.jp URL <http://www.rid2550.com/>